

ご縁の「縁」+楽しむという意味の英語「ENJOY」=「縁じょい」つながりながら楽しもうという取り組みです。

# 縁じょい通信は 活動の羅針盤



## 新しい生活様式と向き合い 新たな活動への準備をしよう

暑さも一段落し、朝晩は涼しい風が感じられる季節になりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。前号では、新型コロナウイルスとの上手な距離の取り方と題し、感染予防について、まずは自分の身を守るということをお伝えしました。

今号では、**コロナ禍でも状況に対応し、模索しながら地道に活動を続けている方々をご紹介します。**これから新たな活動を始める、または活動を再開する方へ向けた応援メッセージとなれば幸いです。一緒に「縁じょい」していきましょう!



インタビュー  
①

金曜クラブ  
(会場・辰新田集会所)

## みんなの予防意識で、安心できる活動に



金曜クラブでは、3月開催以降活動をお休みしました。その期間、世の中は「新しい生活様式」に沿った行動をとるようになり、活動再開に向けて、今まで以上に感染予防と感染対策が求められました。再開には、スタッフや地元の理解が必要でしたが、再開を望む参加者の皆さんの声の後押しとなり、7月から再開しました。**再開してよかったことは、スタッフが手指消毒、マスク、フェイスシールドの着**

**用、ソーシャルディスタンス(社会的距離)、換気を徹底している姿を見て、参加者の感染対策の意識が高まり、自分たちの大切な居場所を安心できる場所にしようという意識が芽生えているということでした。**もちろん、不安が取り払われるには、まだ時間がかかりますが、それでも前を向いて悩みながら一歩ずつ進む姿に、これからの活動を始めるにあたっての姿勢を感じることができました。



鴨宮さんは外出自粛期間中に布マスクを手作り、マスクが手に入らなくて困っている方、お世話になっている方に届ける活動をしてきました。きっかけは、長年続けている保護犬活動の中で、トリマーの方々が、使い捨てマスクの入手が困難になったためです。マスクを作り始めたある日、自宅の駐車場の前でおばあちゃんが口元にタオルを巻き、座っていました。マスクが買えなかったと言うので、「使いにくいところがあれば教えてください」との言葉を添えて手作りマスクを渡すと、泣いて喜んでくれたそうです。そこから、今までつながってきた仲間と布マスクを

届けてきました。その取り組みは新聞等を通して、全国に届き、マスクを通じたつながりもできたそうです。「時間は平等で限られているなら、自分を奮起させて、自分に今できる何かに取り組んでほしいです。そこでの出会いが多いほど、心の底から出てくるありがとうという言葉を感じ取ることができ、それが生きる糧になります。まず自分が楽しんで行動すると、その結果、お互いにうれしい、ありがとうと言えるのが、私のいちばんの活動エネルギー」と満面の笑みで話してくれました。駐車場のおばあちゃんも、きっとその笑顔に感謝したのだと思いました。

皆さんは、地元で活動する「健康づくりグループ」があることをご存じですか。公民館や集会所等を使って、百歳になってもできる体操「いきいき百歳体操」を中心に、楽しく体を動かしています。

今回インタビューした鴨宮さんもこのグループで、体操だけでなくヨガ等で体を動かして、仲間づくりをしています。その出会いから、マスク作りに参加している方もいます。

出会いを重ねながら、今できることに取り組んでいきましょー！



自分のために  
まずは前へ  
踏み出そう



## どんな状況でも 新しいことに 挑戦し続ける!

近年は個人個人が多種多様な活動をして気軽に情報発信をしていく事が容易になりました。活動そのものよりも、その人個人のキャラクターが注目され自分の好きな事に挑戦し、楽しそうに活動する姿を見て、「私も好き!」「応援したい!」とファンが増えていきます。あなたも自分の好きな事に向かって、どんどん挑戦してみましょう!

